



白聖

はくあ 第15号 令和8年10月15日発行



《大学について学ぼう③ 科研費》

皆さんは「科学研究費助成事業」（以下、科研費）について詳しく知っていますか。科研費は、高校生の大学選びの際に、各大学の研究力に関する指標として示されることが多いものです。しかし、その内容について理解している人は多くないと思われます。そこで「大学について学ぼう」の3回目は、大学の教育や研究に欠かせない科研費について解説します。入試偏差値とは異なる観点で大学について理解を深めて、最良の志望校を決める際の参考にしてみてください。

全国の大学では、さまざまな研究活動が行われています。その研究に必要な資金の獲得には、学生数や教員数などに基づいて分配される基礎的経費（国立大学運営公費金や私立大学等経常費補助金の一般助成）と、大学や研究者が応募した研究課題に対して審査を経て助成される競争的資金の、大きく2つの方法があります。2004年の国立大学法人化などを機に基礎的経費が削減されていることから、競争的資金を獲得することが多くの大学の課題になっています。

科研費は、政府全体の競争的資金の5割以上を占める国内で最大規模の競争的資金制度です。研究者が応募した研究計画のうち、専門分野の近い研究者などによる厳正な審査を通過したものが採択されます。そのため科研費に多く採択された研究課題・研究者の多い大学は、独創的・先駆的な研究が盛んに行われているといえます。

科研費は、対象分野が固定的に捉えられることがないよう具体的な分野名は課さず、A～Kまでのアルファベット表記〈図表1〉としており、各区分は概ね下記のような研究に関連しています。

〈図表1〉

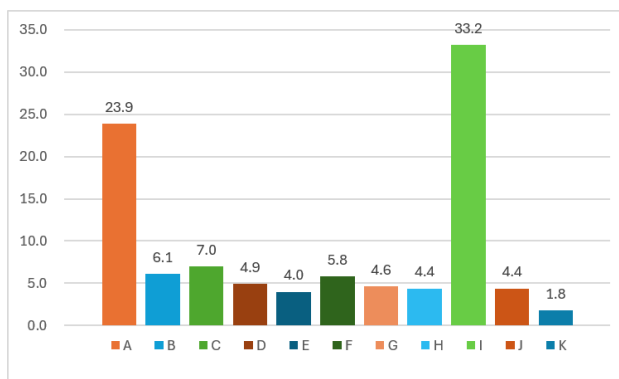
審査区分	関 連 分 野
A	人文学・社会科学関連
B	数物系科学関連
C	工学（機械、電気電子、土木等）関連
D	工学（材料、ナノ、応用物理等）関連
E	化学関連
F	農学関連
G	生物学関連
H	薬学関連
I	医・歯学関連
J	情報学関連
K	環境学関連

文部科学省研究振興局が公表した「令和7年度科学研究費助成事業の配分について」から、科研費の現状を見ていきましょう。

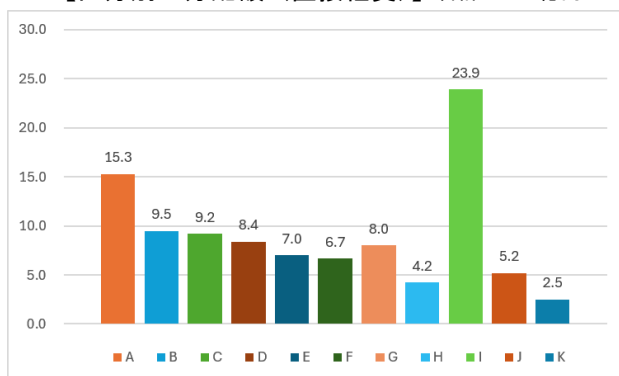
〈図表2〉は、令和7年度の新規採択件数と配分額を審査区分別に示したものです。これを見ると区分I（医・歯学関連）が採択件数で33.2%、配分額で23.9%と最多となっています。一方で、区分A（人文学・社会科学関連）では採択件数で23.9%、配分金で15.3%に留まっており、科研費は理工農学や医療系の研究に多く配分されていることが分かります。これは医学部や附属病院、大型の理工系研究設備が集中していることも背景にあるためであり、科研費の多さは研究インフラの充実とセットで考えると理解しやすいでしょう。

〈図表2〉

【区分別の採択件数】合計：25699件



【区分別の配分額（直接経費）】合計：643億円



研究機関種別の状況を見ると、令和7年度の新規採択件数は、国立大学51.3%、公立大学7.7%、私立大学29.6%、その他（国立研究開発法人、大学共同利用機関法人、短期大学、高等専門学校など）11.4%と、国立大学が半数以上を占めています。さらに配分金は、国立大

(裏面に続く)

学 60.4%、公立大学 5.8%、私立大学 21.0%、その他 12.8%と、国立大学が 6 割となっています。

また、令和 7 年度に科研費が採択された研究者が一人以上いる機関を、採用件数・配分額の順に並べて一覧で示したもののから上位 30 機関を抜粋したものが **〈図表 3〉** になります。これを見ると、上位には医学系や理工系の研究所等を持つ大学が並んでいます。また、上位 7 機関は旧帝国大学であり、全体の採択件数の 2 割以上、配分金の 3 割以上を旧帝国大学が占めています。

設置者別に見ると、上位 30 機関は国立大学が大半であり、私立大学の採択件数及び配分額は、早稲田大学（件数 13 位・配分額 15 位）、慶応義塾大学（14 位・11 位）、順天堂大学（18 位・21 位）、日本大学（23 位・27 位）、立命館大学（24 位・23）の 5 校、公立大学は大阪公立大学（17 位・19 位）、名古屋市立大学（28 位・29 位）の 2 校となっています。

〈図表 3〉 【研究機関別採択件数・配分一覧】

順位	設置者	機 関 名	採択件数	配分額（千円）
1	国立	東京大学	3,992	21,547,630
2	国立	京都大学	2,813	13,901,810
3	国立	大阪大学	2,545	10,346,700
4	国立	東北大学	2,248	9,806,420
5	国立	九州大学	1,866	7,113,990
6	国立	北海道大学	1,702	6,705,400
7	国立	名古屋大学	1,667	7,352,150
8	国立	東京科学大学	1,564	7,001,280
9	国立	筑波大学	1,313	4,485,893
10	国立	神戸大学	1,180	3,283,800
11	国立	広島大学	1,138	3,108,950
12	国立	岡山大学	1,083	3,091,400
13	私立	早稲田大学	1,024	3,000,400
14	私立	慶應義塾大学	1,013	3,444,870
15	国立	千葉大学	942	2,619,370
16	国立	金沢大学	903	2,320,630
17	公立	大阪公立大学	894	2,213,250
18	私立	順天堂大学	794	1,750,320
19	国立	理化学研究所	723	4,078,360
20	国立	新潟大学	700	1,613,560
21	国立	産業技術総合研究所	697	2,410,980
22	国立	熊本大学	682	2,035,930
23	私立	日本大学	656	1,047,150
24	私立	立命館大学	652	1,482,000
25	国立	長崎大学	634	1,350,960
26	国立	信州大学	580	1,140,750
27	国立	鹿児島大学	501	918,580
28	公立	名古屋市立大学	476	951,860
29	国立	富山大学	449	1,064,180
30	国立	徳島大学	449	1,029,990

東北大学は、約 98 億円の科研費を得ていますが、令和 6 年 11 月に「国際卓越研究大学」として文部科学大臣より認定されました。これにより令和 6 年度は約 154 億円

の助成額が入りました。また、東京科学大学が令和 8 年 1 月に 2 校目として、京都大学が令和 8 年 7 月に 3 校目の認定を受けています。そうすると今後、東京科学大学や京都大も無理して競争的資金獲得に奔走せずとも潤沢な研究費用を確保できるため、科研費配分額が減る可能性もあり、他大学の動きにも影響が出てきそうです。

科研費は、個々の研究者に対して研究費が配分されるため、研究者が異動した場合は、大学別の採択件数・配分額ともに大きく変動する場合があります。また、研究者は大学院や附属研究所に所属し、学部生の教育等に関わらない場合もあります。科研費は信頼性の高い指標ですが、各大学の教育水準などを示すものではなく、研究力のすべてを反映しているわけでもありません。企業との共同研究費、特許収入、論文被引用数など、科研費には含まれない研究活動もたくさんあります。高校生にとって大事なのは、総額の大きさよりも自分が興味ある分野の研究にお金がついているかどうかです。研究の現状を見る際の指標の一つであることに注意してください。

科研費は、採択された研究テーマと金額が一般に公開されています。国立情報学研究所が運営するデータベース『KAKEN』で、大学名・研究者名・キーワードから自由に無料で検索できます。興味のある分野のキーワードを入力すれば、どの大学のどの教授がその分野で研究費を得ているかを確認することができます。

- ① 大学名から検索 ⇒ 採択件数や金額を確認
- ② キーワードから検索 ⇒ 関連する研究者を確認
- ③ 研究者名から検索 ⇒ 過去の研究テーマを確認

高校生のうちから一次情報を確認できることは、大学選びの参考になります。また、今は興味のある分野が決まっていなくても、気になるキーワードを入れてみるだけで新しい発見に繋がるかもしれませんよ。

科研費は、採択件数・配分額ともに旧帝国大学が上位を占めていますが、分野別で見えていくと特色ある大学も見えてきます。入試偏差値でみるとそれほど難易度に差が見られない大学群でも、科研費の採択件数や配分額には大きな差が見つかるかもしれません。興味のある学問分野がある生徒は、大学選びに活用できる情報になりますので、是非とも自分で調べてみてください。